棚の隅（2006）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
時間 81分
初公開日 2007/03/17
公開情報 リトルバード

【キャッチコピー】
男は忘れようと誓った。
女は忘れたいと願った。

【解説】
　連城三紀彦の同名短編を大杉漣主演で映画化。男と女の心のすれ違いと、思い通りに行かない人生の哀しみを淡々とした生活描写の中に綴る。監督は新人の門井肇。康雄が営む小さなおもちゃ屋にある日ひとりの女性がやって来る。棚の隅にある古いおもちゃを買って出ていったその中年女性は、８年前に康雄と幼い息子の毅を残して突然蒸発した前妻の擁子だった。その後、康雄は再婚し、毅も継母の秀子になつき、平穏な家庭を築いていた。擁子の不可思議な行動に心乱れる康雄。一方、擁子も元には戻れないと知りつつも、残してきた我が子への思慕を抑えることが出来なかった…。

【クレジット】

監督	門井肇		
企画統括	小池和洋		
原作	連城三紀彦		『棚の隅』（文藝春秋刊『日曜日と九つの短篇』所収）
脚本	浅野有生子		
撮影	鈴木一博		
音楽	延近輝之		
主題歌	榊いずみ		『つまらない世界』
出演	大杉漣	宮田康雄	
	内田量子	岡崎擁子	
	渡辺真起子	宮田秀子	
	榊英雄	進藤亮介	
	今井悠貴	宮田毅	
	徳井優	玩具問屋店主	
	今宿麻美	三浦なるみ	
	江道信	佐藤信次	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.